

提供日 2023/6/26

タイトル 海外大学と生体シミュレーションに関する COIL 講義を実施
(大学院薬食生命科学総合学府)

担当 静岡県公立大学法人

静岡県立大学 教育研究推進部 国際交流室

発信担当者 054-264-5158



静岡県立大学記者提供資料

カリフォルニア大学デービス校 & 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府 COIL 講義「新薬開発におけるコンピューターシミュレーションの役割」

本学は、カリフォルニア大学デービス校（UCD）と2011年に大学間交流協定を締結し、特に薬学の分野では、本学から、ヒトIPS細胞由来の心筋細胞による電気活動や収縮活動を定量的に計測したデータを UCD に送り、UCD でスーパーコンピューターを使った生体シミュレーションで処理するなど、共同研究を行っています。

また、本学は COIL (Collaborative Online International Learning) プロジェクトに取り組んでおり、今回下記のとおり、同プロジェクトの米国連携10大学である UCD と COIL 講義を実施します。

報道機関の皆様におかれましては、当日の取材をお願いします。

取材をご希望の場合は、事前にご連絡をお願いします。

記

- 日時：令和5(2023)年6月28日(水)10:40～12:10 集合10:20
- 場所：対面および Zoom で実施
※ 当日は草薙キャンパス看護学部棟4階 13402講義室にて取材可能です。
- テーマ：「新薬開発におけるコンピューターシミュレーションの役割」
- 講師：米国カリフォルニア大学デービス校 医学部薬学科 佐藤大輔 准教授
※ 心臓学 (Theoretical and computational cardiology) がご専門であり、心臓の数学的分析とマルチスケールモデリングを使用して、分子レベルの特性が臓器レベルの現象にどのようにリンクされているかを中心にご研究。
- 内容：本学の黒川洵子教授によるファシリテーションの下、世界の第一線で活躍する日本人研究者とともに、実際にコンピューターを活用したシミュレーションを本学学生に体験させ、心筋細胞における期外収縮という異常な筋収縮を引き起こす原因とメカニズムに迫ります。また、今回のアクティブラーニング型講義は、健康寿命に関するCOIL教育を通じたUCDとの国際交流事業として位置付けられています。
- 参加者：本学の大学院生・学部生・教職員、学外研究者
- 取材申込：以下のメールに当日の連絡先を含め事前連絡をお願いします。

【本件に関するお問い合わせ】

静岡県立大学 教育研究推進部 国際交流室

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

Tel : 054-264-5158

E-mail : kokusai (ここに@を入れる) u-shizuoka-ken. ac. jp